

## 「水おしろい」と保湿ジェルとのマッチングについて

お問合せの件、あえて「水おしろい」とのことですが、ひょっとして「ははぎく」あるいは舞台や映画撮影時など、プロ用の白粉&化粧水ベースのものかと思います。

通常、ファンデーションはケーキ（固形）タイプとリキッド（液状）タイプの二つに大きく分けられます。どちらも成分的には油脂成分と水溶性成分、そして顔料（色粉）で構成されており、本来混ざらない油脂成分と水溶性成分が顔料とともにきちんと分散されて安定するように、しっかり乳化されています。

固形と液状の違いについては、基本的に「つなぎ」となる成分の濃度の違いで、粘性が極端にあって固められているものと、あまりないものの違いとっていいと思います。

しかし、「水おしろい」については、いくつかの商品があるようですが、使用前は「分離」していて、使用直前に「しっかり振ってからお使いください」というのがいくつかあるようです。この点を考えると「水おしろい」といわれるものは乳化されていない状態で顔料とベース基剤がボトリングされているという状態で、リキッドファンデーションなどとはまったく別物ととらえる必要があるかと思います。

おろらく、通常の「水おしろい」の場合、肌に塗ってしばらくすれば、ベース化粧水は肌に吸収されるか蒸発し、肌表面はいわゆる「お粉をはたいた状態」で、顔料が肌表面に乗っている状態にあるかと考えられます。

### 考えられるケース-1

保湿ジェルを塗った直後の肌表面には皮膚に浸透しきれなかったジェルがヴェールのように残っている場合があります。この時「水おしろい」の未乳化の顔料成分がジェル成分に加わり、物理的な摩擦（練られる状態）によってポロポロと半固形状の粒になることもあるかと考えられます。

### 考えられるケース-2

「水おしろい」は基本的に化粧水に白粉（色粉）を物理的に拵取するだけで肌に塗るという点から、通常であればベースの化粧水成分は肌に吸収されますが、事前に保湿ジェルを使用すると、特に角質層にたっぷり水分を保持するため、その後にさらに化粧水的なものを与えても、それ以上肌が吸収しなくなり、結果、「水おしろい」の想定以上の水分が肌表面に残ったままとなり、その状態でこすると白粉成分が練られて、前述同様、半固形状になると考えられます。

保湿ジェルをお使いの後、少しだけ時間をおいて肌表面の「残り感」を確認されてから「水おしろい」を使われてみてはいかがでしょうか。また、その際、一般的なファンデーションのように肌表面で擦らず、ソフトに塗りのばすような感覚でご使用されると良いかと思います。